

令和2年度 第2回 西宮市事務執行適正審議会 会議録

1	日時	令和2年11月16日（月）15時15分～17時00分
2	開催形式	新型コロナウイルス感染防止のため Zoom による遠隔会議形式
3	出席者	委員：遠藤会長、植村副会長、金崎委員 事務局：市長、総務局長、総務局担当理事、総務総括室長、総務課長、総務課担当課長、総務課係長、政策局参与、財務総括室長、会計管理者、監査事務局長、内部統制専門委員（遠隔参加）、内部統制アドバイザー（遠隔参加）、委託事業者
4	議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 石井市長による「内部統制による組織ガバナンス改革」のプレゼン <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市の内部統制制度の構築は自治体の組織ガバナンス改革 ・西宮市版内部統制制度は、不正と誤りの防止のためのリスク対応と共に重要度に応じたメリハリと事務改善による効率化を優先する「バランス型」 ・業務の有効性と効率性の向上で、持続可能な地方行政体制を確立 2 内部統制制度の試行実施について <ul style="list-style-type: none"> ・西宮市版内部統制制度は、形骸化しない普遍的・恒久的な仕組みを確立 <ol style="list-style-type: none"> ①シンプルな仕組みで屋上屋を重ねず実務でPDCAを回す。 ②勘に頼らずエビデンスを示して見える化させる。 ③様々なやりとりを通じて職員を巻き込みリスク感度を高める。 ・全庁でのリスク評価を分析し、25個の重要リスクを提案 ・モニタリング試行実施について 自己点検と独立的評価を一部の職場で実施し、現地チェックを予定 3 内部統制基本方針案および内部統制評価報告書様式案 4 財務事務業務改善および財務事務マニュアルの整備について(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・財務事務業務の課題について全庁アンケートを分析し66個の課題を抽出し、改善に取り組み、最も改善要望の高かった財務事務マニュアルを整備中 5 今後のスケジュールについて(予定)
5	議事要旨	<p>【議事次第1】（意見及び質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長から若い職員へ伝えたいメッセージはあるか <p>市長：改革意欲をもって仕事に取り組み、自身が新しい仕事と向き合った時の心の引っ掛かりを忘れないで、仕事の合理化・効率化に繋げてほしい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の業務に対する疑問を拾い上げる方法としては、西宮市のように仕組みを構築する方法と組織風土自体を変えるという方法がありその点も頑張ってもらいたい。 ・業務の効率化を進めると、職員間のコミュニケーションが不足するので留意してほしい。 ・見直しの際には、その業務の本来の目的を踏まえた上で検討してほしい。 <p>【議事次第 2】（意見及び質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ感染対応の影響で、「想定リスク対応策」と原課で修正した「リスク対応策」については、現場からも様々な意見が出ているため、本格実施に向けて、今後より深度ある議論が必要。 ・翌年度以降のリスク対応策は、制度所管課にも考えて貰いたい。 ・独立的評価で現場チェック行うとのことだが、具体的にどこまでやるのかの検討が必要、事務執行監査と同様と受け取られやすいので、現場の職員に内部統制の評価を受ける意味をしっかりと伝えてほしい。 <p>【議事次第 3】（意見及び質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象を財務事務と記載しているが、出先機関が管理している準公金などは対象となるのか。 事務局：まずはスモールスタートで市長部局の財務事務を対象としたいが、対象範囲の拡大についても今後検討する。 ・監査委員との連携スケジュールはどうなっているか。 事務局：本年8月に監査と内部統制に関する懇談会を設置し、監査委員との意見交換の機会を設けている。今後も年に数回意見交換を行いたい。 <p>【議事次第 4】（意見及び質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの分量、更新頻度の確認 事務局：例えば予算編では新たなマニュアルは最終的には100ページ程度毎年度の見直しをルール化 ・新規事業の増加に伴い事業単位が細かくなると、事務負担が重たくなるので、予算事業単位の見直しを行うのも有効である。
--	--